

シルバー Silver

しながわ

品川区の中でも有数の賑わいを誇っている武蔵小山商店街、中原街道から武蔵小山駅へ向かうアーケードの手前を右手に行くと荏原支部があります。荏原支部は平成7年に区立荏原保育園と併設されて現在に至っております。近くには、林試の森、星薬科大と緑にも恵まれたロケーションの中で荏原地区の会員さんや周辺の企業に身近でなじみやすい事務局として存在しています。



藤原 千重子会員、加藤 美子会員
(共に荏原地区)

武蔵小山商店街は昭和22年、空襲による焦土から復興し数々の発展を遂げて現在のような名立たる商店街になりました。今では、お買い物をする客も多く、まっすぐ歩けないほどです。そこに自転車走行の人がいると衝突事故の元凶になり、「自転車走行をやめさせて！」の声が非常に多く上がったそうです。当初はガードマンをお願いして自転車規制を行っていましたが、ソフトに物事を言えるご高齢の女性の方がより適任だろうと考え、当センターで「自転車走行禁止の啓発運動」を引き受けることになりました。現在、4人の会員が従事しています。

安全就業についてこの一年間を振り返って

事務局長 久保田 孝之

都内58シルバー人材センターの中で契約金額も多いが事故も多いセンターが品川だと言われている。既にご報告している通り、昨年度の傷害事故は27件です。その中には最悪の重篤事故もありました。こうした事故を起こした事業所は、通常、再発防止のための取り組み状況がどうなのか常に内外から注目されています。

昨年以來、「つま先立ち体操」「KY運動の実施」「一人ひと声かけ運動」など数々の取組みをしてまいりましたが、依然として事故件数の減少につながりやうな兆候さえ見えてきません。今年もすでに事故件数が7件となっており昨年同期と比較しても倍の件数になっています。いずれの事故も大きなものではありませんでしたが、やはり、怪我をされた会員からは『まさか、自分が事故に遭うとは』『ちょっと、うっかりしていた』などの声があり、ヒューマンエラーを伴うものであることは明白です。小さな怪我で良かった良かったという人達がいいます。怪

私の大小でいい、悪いなど判断するのは以ての外です。過去に起こった事故事例などを見てみると、小さな怪我が続くのを放置している職場は必ず大きな事故を引き寄せてしまう傾向があるようです。ですから、今、品川のセンターでは、事故を起こした当事者だけに注意喚起をするのではなく、職場の安全環境はどうだったのか、無理な就業体制はなかったのか、同じような仕事に就いている会員への注意はどう呼び掛けるべきかなど自ら検証することになっています。重要なのは、会員も事務局も事故に対して謙虚に向かい合いどうしたら事故を少なくできるか互いに知恵を絞り合って取り組むことだと思います。

そのために本年度から、事故再発防止講習会を開催しています。これは事故当事者を集めてもらい、事故の起きた要因を検証して再発防止のためには何が必要か、率直な意見交換を通して改善策を見いだして行きたいということから始めたものです。事故当事者だけでなく会員の

皆さんのご協力をぜひともお願い致します。

また、元気で仕事を続けていたいただくためには、ご自分の健康状態の把握が大切です。毎年、

11月は本年度2回目の安全就業強化月間です!

品川区シルバー人材センターでは、事故0を目指して7月に続き独自に11月も「安全就業強化月間」として、安全管理委員会・事務局等が一体となって精力的に取り組みます。会員の皆様のご協力をお願い致します。

今年度のスローガン

「危険予知

行きも帰りも 職場でも」

「危ないよ

その一声が 危険予知」

皆様も、自宅から就業先への往復時や就業前に「スローガン」を思い浮かべ、安全意識を高め事故0を目指しましょう。

会報と一緒に配布する「転倒予防チラシ」を活用していただき、特に裏面の「安全心得10ヶ条」を熟読され、事故防止を心がけて下さい。

健康診断を受けることやご自分の体力がどの程度か、先日行った体力測定会などの機会を活用して確認して見てください。

特に、自転車事故、転落・転倒事故は大怪我になりやすいので十分気をつけていただくようお願い致します。

安全パトロール

安全管理委員会では、毎月就業現場の安全パトロールを実施しています。今年度は、都内でも事故の多かった植木現場を中心に実施していますが、マンシヨン清掃等の現場にもお伺いしています。

無理な体勢で仕事をしていないか、道具の使用方法は適切か、ヘルメット・安全帯の着用は出来ているか、両手に道具を持ち階段を昇り降りしていないか、現場は整理整頓されているか、会員証は携帯しているか等をチェックしています。安全パトロールで訪問した際にはご協力ください。

事故再発防止講習会の実施

8月30日(火)に平成27年度に傷害事故に遭われた会員対象に講習会を実施しました。当日は、開会にあたり全員でつま先立ち体操を行いました。泉安全管理委員長より挨拶。

久保田事務局長より講習会の開催の意義について趣旨説明がありました。「昨年度27名の方が傷害事故に遭われているが、現場に復帰できているのは三分の二の18名となっている。一旦事故に遭われると大きなけがに遭われるケースが非常に多い。皆様も事故の再発防止には十分気をつけていただくとともに、どのようなことが原因でどうすれば防げたのか、ご自分の経験を同じ現場の仲間にも伝え他の会員も事故に遭わないようにしていただきたい」

続いて、東京しごと財団のシルバー保険事業室の瀬戸係長から参加者全員に事故の起きた様子を聞きとった後に「自分の事故を振り返ってもらい、今後の対策を一緒になって検討してください」などのお話をいただきました。最後に講習受講者代表が「安全宣言」を朗読し、全員で再発防止を誓いました。



しごと財団シルバー保険事業室 瀬戸係長の講演

「地域コンビニサービス」ってなあに

東大井支所 菅井竜也



「ご家庭内でのちょっとしたお困りごとのお手伝いをするのが、今回ご紹介する「地域コンビニサービス」です。ちなみにコンビニ

二とはCONVENIENCE、英訳すると便利・便利だから取っているの、街のコンビニエンスストアのことではありません。ご家庭内で発生する簡易な困りごとをお手伝いする仕事で、例えば電球交換、病院の付添、家具の移動、衣類の整理、外出時の植木の水やり等です。お客様は多くは高齢者世帯で腰が痛い、膝が悪いなどご自身での作業は難しいけれども、業者さんに頼むほどでもないといった場合にセンターに注文が入ります。

平成21年度に立ち上げ、翌22年度は年間で490件だった件数が、昨年27年度は年間823件とここ5年間で倍にまで伸びています。

超高齢社会に突入した現況においては益々高齢者の生活支援サービスが求められていると言えます。さらに区では地域包括ケアシステムの運用が本格化してきますが、介護保険の対象にならないちょっとしたお手伝いの担い手としてセンターに期待が寄せられており、更にご依頼が増加すると思われます。

そこで現在の「二時間以内は、二千円」というシステムがありますが、これからはもっと短時間でできるちょっとした仕事、



病院の送迎をする菊地会員。文庫の森の緑が気持ちよく、おしゃべりも弾みます。

スポット的な仕事や一人でいくつかかけもちでやるダブル就業の検討、料金設定などについても見直ししていく必要があります。また、至急の依頼にも対応できるように受注体制の強化が必要になりますので各地区でお手伝いいただける会員を募って行きたいと考えております。今お仕事をされている方も空いている時間でできる場合もありますのでお気軽にお問い合わせください。

それは世界に類がない 日本固有の文化です。

畳作業は熟練の技術を要し品川区では現在4名の会員が元気に就業しています。他のシルバー人材センターでは扱っていないところも多い仕事です。

最近横行している安かるう悪かるうの格安品とは一線を隔した確かな技術と確かな品質を提供する点は4人とも共通しています。

しかし作業方法は人それぞれで異なっています。

それは各自がかつて親方であった親から受け継いだものを基本としているものの自分なりに諸先輩や仲間のいいところを真似る『見て学ぶ』ことを実践し習得した結果です。

教わっていないから分からないではなく自ら「見て学ぶ」是非見習いたいものです。

このように素晴らしい畳職人の方々がセンターには揃っております。

畳の張替を検討しているのですが、どこに注文しようかと迷っている方は非ご注文下さい。新しい畳で清々しい1年を過ごしましょう。



修復後

修復前



畳修復作業中の河野会員

70歳、まだまだ現役、元気いっぱい

品川区シルバー成年式

9月10日(土)区立総合区民会館きゅりあんに於いてシルバー成年式が開催されました。

シルバーク成年式は、70歳(古希)の方をお招きする記念行事で、今年度は24回目を迎えて、区政にとっても70周年の節目の年でもあるそうです。

今年度は、4142名の方が対象でそのうち770名の方が出席されました。当日は、記念式典のあと、落語家の三笑亭夢之助師匠等による寄席が行われ、会場は大いに盛り上がりました。

が、その中で参加者代表の一人から『さわやかな風、青い空、ゆっくりと流れる白い雲、どこへ行くの、今が一番幸せ、元気で働ける自分に乾杯を...』ととても素敵な詩の朗読がありました。

講演のあと、イベントホール会場でのシルバー人材センターのブースでは、会員募集のPRちらしとインスタントみそ汁を無料配布しましたが、そこでも何人もの方から「センターとはどういうところ、働きたいのですが」などの問い合わせがあり、



70歳は、まだまだ現役で働きたいと思っている方が大勢いらっしゃるって会員になる潜在的な可能性も極めて大きいと改めて実感したところです。

今後は、PRや会員勧誘に一層の工夫が必要と考えています。ご協力いただいた地区委員の皆様、ありがとうございました。



募集ちらしを配っている会員さん達

平成二十八年度 夏期全体会の様子

荏原地区



八月十四日(日)に荏原第一地域センターで開催。参加会員65名。荏原地区では、警察署の方を招いて、自転車の交通安全についての講演が行われました。

講演 『「自転車事故」起こさない・巻き込まれない』

講師 警視庁荏原警察署
交通課 久保田 様

『まず、八月六日(土)に中原街道で発生した、交通事故についてのお話から始まりました。午後二時頃、交差点を左折しようとした六十歳代が運転する大型貨物自動車と横断歩道を横断中の七十歳代の男性が乗っていた自転車車が衝突し、自転車の男性が重傷を負いました。この事故は、トラックの運転手の注意不足もありましたが、車両には必ず死角が存在し、お互いの姿が見えなかったことが大きな要因になるといえることがあります。』

事故に巻き込まれない為にも、お互いでアイコンタクトを行い、横断歩道を歩行する際は左右の確認も忘れないうように十分注意してから渡ることを心掛けましょう。また、歩行者信号機の点滅の時間は、平均六十歳代の方々がその横断歩道を歩いて渡れる半分の距離に設定されているそうです。それぞれの地域で異なることもあるかも

しれません。が、参考にしてください。などの指導がありました。

次に、狭い路地や交差点で危ないと思つた場所や体験談を、荏原地区の地図を見ながら、会員同士で話し合いを行いました。最後に小山二丁目の小玉会員が代表して同じ事故を起こさないうように教訓を活かそうとの発表をしました。昼食後も、今までに仕事中心や普段の生活の中でヒヤリ・ハットした体験談を三名の会員さん方に話していただきました。

事故のほとんどがヒューマンエラーによるものが多いです。一人ひとりが交通安全を心掛け、事前に危険が起これそうなことを予想し、事故を未然に防ぐようにしましょう。交通安全について改めて考えるよい機会となった一日でした。



品川地区



八月二十七日(土)参加会員44名。品川第一区民集会所で開催されました。

台風の影響で不安定な天気が続いていましたが、全体会開催中は雨が降らず大勢の会員の方にお集まりいただきました。

今回、全体会の研修は「高齢者の健康管理」について、転倒予防の体操とお話を伺いました。

講演 『転倒予防のポイント』
講師 品川保健センター

主事 木幡(こはた)様

転倒は屋外より実は屋内の方が多いです。

転倒予防を減らす合言葉は

- 「ぬ・か・づけ」
- ぬ▼濡れているところは滑りやすい
- か▼階段・段差は躓きやすい
- づけ▼片付けていないところは躓きやすい

是非、覚えてほしいとの事でした。お話の後は、椅子に座ってできる体操を参加者全員で実践しました。

その後、ボランティア活動等でピアノを弾いている日暮委員の伴奏のもと会食し、最後は全員で合唱を

しました。楽しい有意義な全体会となりました。



木幡講師の指導で椅子にすわっての体操を実践しています。



大井東地区



平成28年8月28日東大井区民集会所で開催。参加会員47名。最初につま先立ち体操を全員で実施。久保田事務局長から「シルバー人材センター第4次中期計画」についての説明がありました。

また本日の特別プログラムとして成年後見制度についての講演が行われました。

講演 『成年後見制度について』
講師 (社団)しんきん成年後見サポート
服部 様
平森 様

「この制度は、財産の取引などの契約や各種手続きを行う時に、認知症の高齢者など自分で十分な判断をすることができない人が一方的に不利な契約を結ばないよう法律面で支援し、適切な福祉サービスにつなげることで本人の権利や財産を守ることを目的としています。」

今日ご出席された方は今の所そのような心配はないと思います。なぜならちゃんと時間までに来てこの会に参加しているからです。

しかし、当たり前前のご想像い出せない判断できなくなる方がいらつしやいます。自分で財産管理や望んだ各種契約等ができず騙されて詐欺や犯罪に巻き込まれるケースも多く発生しています。

制度を知っていただきたいのはご自身でご利用いただくことはもちろんで



しんきん成年後見サポート 服部講師の講演

すが、近隣の独居の方、認知症気味の高齢者の方、子供がいなくて将来へ不安を持たれているご友人の方などきつとお役に立つことができると思います。

「制度は分かったけどどこに相談すればいいのか」という場合には、地域密着型の品川の5つの信用金庫の特性を生かし、安全で信頼性の高い貢献事業を目指す

《しんきん成年後見サポート》まで
☎03(3493)8147

無料にてご相談をお受けしておりますので何でもご相談ください。」

以上が本日の講演です。

今回の成年後見制度の講演は同じ様に両講師が8月6日では大崎地区、8月21日には戸越地区でも行われました。お疲れ様でした。

各地区のこれまでの歴史などを取り上げていきます。(第5回)

大井地区のこれまでの歩み

大井地区委員長 中畑健一

大井は、のどかな農村から工場の街へと発展してきましたが原始・古代から品川区の中心地です。大井町駅は、大正三年(一九一四)に開設され現在ではJR京浜東北線、東急大井町線、りんかい線の乗換駅でもあります。

大井地区の主要な地域は大井一丁目から七丁目ですが戦前から大井三ツ又付近が有数の商店街であり、池上通りに面した大井本通り商店街、横路に滝王子商店街があります。そこに滝王子稲荷神社の池というかつての湧水池が残っていて、大井地域が農村であった頃に地産の野菜の洗い場として利用されていたそうです。また、安和二年(九六九)に建立された鹿島神社、品川歴史館もあります。

このように大井地区は昔から家、職場のすぐ近くがなじみの商店街であり生活の中心地として発展してきました。しかし、各商店街の個性と大井町駅前が空白であったため、今一つ一体感に欠けていたところがありました。

その大井町を一つにまとめたのが昭和二十九年に始まった「大井どんたく祭」です。大井町の名が広くアピールされ今年で



今年8月28日(日)のどんたく祭り

62周年を迎え地元区民にとっては欠かせない行事になっていきます。駅前も賑やかな街となりました。

大井地区の現在の会員数は百六十七名、平均年齢七十四歳ですが「大井どんたく祭」は、地元の祭りであり、また高齢者の集まりの場でもあります。シルバー人材センターの目標の一つである「仲間づくり」のチャンスでもありますので、会員の皆さんが参加して大いに楽しんでもらいたいと思っています。そして近所の人と出会い、会話ができれば、それによって認知症の予防にもなりますよ。

相互に助け合い、気が一体化されて一年間が終わろうとしています。委員十一名一同は会員の健康が第一と地区活動に努めております。

地区日帰りレク

東京ドイツ村で旬のお花鑑賞の旅

戸越地区

六月十四日に戸越地区で総勢二十二名にて日帰りレクが実施されました。川崎から東京湾アクアラインを使い、海ほたるにて休憩、当日はみなさんの日頃の行いの良さが幸いし天候にも恵まれ、東京湾が一望できるすばらしい景色でした。

その後、袖ヶ浦市にある東京ドイツ村を訪問、あたり一面に広がるあじさい、キンギョソウなどのシチュエーションを鑑賞。特別にバラとラベンダーの無料配布が行われ、みんな大喜びでした。金谷港では昼食後、「渚の駅たてやま」にて、ミニ水族館でおさかな鑑賞、海岸に隣接している栈橋形式としては日本最長の館山夕日栈橋までお昼ご飯の消化の為、みんなで歩きました。その後途中「房総四季の蔵」にて買い物と足湯

バスの中でビンゴ大会、ビンゴは一度も当たったことがないといっていた稲見委員長がみごと一等賞を獲得して、一同拍手喝采。無事、帰路につきました。お疲れ様でした。



一面あじさいとキンギョソウの東京ドイツ村

会員さん趣味のコーナー



『山は元気の源！ 自然のパワーを全身で受け疲れを吹き飛ばす！』

戸越地区 神宮 愛子

ハイキングを始めたきっかけは、息子がボーイスカウトに入っていてそのカブ隊長になったこと。縁あって高尾山の案内人と仲良くなり、その方の勧めで毎月一回高尾山に登るようになりました。

ハイキングの魅力は小動物や綺麗な花々との出会いと木漏れ日、葉擦れを見たり聞いたりすることです。またその山の達人から知らない獣道(けものみち)や歴史を教わることもあり、それも楽しみのひとつです。実は、30代の頃は1時間も歩けませんでしたが、今では5時間歩くこともあります。普通、山登りは元気な時にしますが、私は疲れた時にこそします。山の雄大さから元気をもらい、下山時には不思議と体が軽くなっています。ハイキングは健康維持のために続けています。

歩くコツは、かかとからつま先にかけて土を踏むこと、自分に合った歩幅とペースを維持して歩くことです。身に付ける物も大切に、靴は底に溝のある物を選び、行く前は必ず溝の汚れを落としてから出掛けます。また、荷物は最小限にし、晴れていても雨具は用意しておくといです。

12月になると鎌倉の獅子舞の谷の紅葉が足元から空まで一面鮮やかで絶景ですので、よければ足を運んでみてください。



出発前の神宮会員



毎月一回は北鎌倉から江の島に向けて歩きます。そこで食べる最中アイスが格別!

会員さん趣味のコーナー



『除夜の鐘』

大井地区 柳下 恭治

私は、昭和40年に大井第一小学校のすぐ近くの 大井六丁目の郵政宿舍に転入しました。

その年の大晦日、どこからか「除夜の鐘」が聞こえてまいりました。調べてみるとすぐ近くの大井山光福寺の鐘で、檀家の人を始め誰でも鐘つきに参加できることがわかりました。

翌41年から撞き始め、53年に大井七丁目の現自宅に越してからこの寺で「除夜の鐘」を五十年間撞き続けています。途中、三回ほど宿直勤務で撞けなかった時は二人の子供が代役しました。健康で続けられたことに感謝しております。

ここ数年は、長男と一緒に撞いています。今年もまた長男と除夜の鐘を撞いて、年越しそばを味わいたいと思っております。

ところで、この光福寺の鐘樓のすぐ前に大きな銀杏(いちょう)の木があります。幹周囲6.4m、高さ40m、推定樹齢八〇〇年の雄樹で残念ながらぎんなんは生りません。整ったその樹の姿は雄大で壮観です。品川区内最大だそうで、樹と大枝からは古木のしるしの乳根が垂れています。明治時代までは、沖合の漁師たちが航行の目標にしたと言われています。また、天然記念物として指定された品川区の第一号であります。

もう一つ、寺の裏側に「大井の井」と言われる横穴式の古い井戸があります。今も水が湧いており、「大井」の地名の由来とも言われています。



除夜の鐘を撞く柳下会員

会員の皆様

普段やっていること、これからしようと思っていること、どんなことでも結構です。投稿を歓迎します。写真やこんな趣味等募集しています。事務局まで

共助会秋の一泊旅行のご案内 11月20日(日)～21日(月)1泊2日

11/20 (日)	大井町駅7:45 → 羽生SA → 那須高原SA → 白河IC → 12:30 塔のへつり (昼食・見学) 13:50 → (侵食された溪谷美) 14:10 大内宿 (散策) 15:10 → 15:40 会津 芦ノ牧温泉 丸峰観光ホテル (泊) (江戸時代の宿場町)
11/21 (月)	ホテル 9:00 → 会津漆器工場 (見学) → 本郷・流紋焼 (見学) → 10:50 会津武家屋敷 (見学後昼食) 12:20 磐梯河東IC → 那須高原SA → 羽生SA → 17:30 大井町 磐越・東北道 (休憩) (休憩) 首都高速



1日目のみどころ

【塔のへつりと大内宿】

国の天然記念物に指定され、長い月日をかけ川の浸食によって作られた自然美の『塔のへつり』と江戸時代の街並みを今に残し、萱葺き屋根の民家が30軒以上並ぶ様子が珍しい宿場町『大内宿』。



ホテルのお楽しみ

雄大な自然の中で会津の四季を肌で感じながら時間を忘れてゆっくりおくつろぎいただけます。

【お風呂】

含塩類石膏泉で神経痛や痛風の痛みを和らげる大展望風呂、露天風呂、檜風呂とバラエティに富んだお風呂でゆったりと旅のお疲れを。

【ご宴会】

白虎隊の剣舞ショーや各号車代表の歌声や、抽選会を企画しております。福島、会津は酒処。地酒の飲み比べをお楽しみいただけます。

☆15時40分の到着で、ご宴会までのお時間をゆっくりお過ごしく下さい。



2日目のみどころ・お買い物

【伝統工芸品 会津漆器工房・本郷焼 流紋焼窯元】

全国唯一の木製漆器専門店。職人の技を案内ガイドします。本郷焼は鶴ヶ城の改城の際に瓦を焼いたのが起源です。

【昼食場所】

部屋数38室の会津家老屋敷。菊祭りが屋敷を彩ります。郷土色豊かな昼食をお楽しみください。売店では会津を代表する銘菓や名産品が盛り沢山。最後のお買い物はここで決まり!です。

ご案内は9月初旬に行いしましたが、申し込みは10月3日(月)～センターの各事務所に参加費17,000円を添えて早めにお申し込みください。初日の早い時間に定員に達する場合がございます。

あとがき
今年のリオ・オリンピック、パラリンピックで日本は多くのメダルを獲得しました。テレビでの入賞選手のインタビューではほとんどの選手が「精神を統一して出場した」「必ず勝つとの信念で闘った」と言っていました。しかし、自信を持って試合に臨んだのでしようが、僅かの際で金メダルを逃した選手もいました。
ところで、当人材センターはここ数年事故が多発し、安全管理委員会を中心にいろいろな施策を実施していますがなかなか減少しません。
これはわれわれの自覚の問題で「事故を意識しない」「または自分だけは大丈夫と心のどこかに隙があることが原因ではないでしょうか。」
「事故は絶対に起こさない」という強い信念をオリンピック選手のように毎日持ち続けたいものです。
共助会一泊旅行の申し込み開始日は今年10月3日(月)です。間違いないよう申し込みんでください。先着順、定員になり次第締め切りです。
(担当理事 柳下恭治)

会員総数

平成28年8月末日現在

2,463名

男 1,411名

女 1,052名

就業相談

仕事のことや職場の悩みなど、理事が相談をお受けします。

10月13日(木) 午後1時～午後4時
本門部 馬多理事

11月10日(木) 午後1時～午後4時
本門部 藤泉理事

12月8日(木) 午後1時～午後4時
本門部 馬多理事

12月15日(木) 午後1時～午後4時
本門部 藤泉理事